

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年1月30日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	延岡市立図書館	代表者名	丸山 奈緒美
担当者部署	管理係	連絡先電話番号	0982323058
担当者役職		担当者氏名	
住所	8820812 宮崎県延岡市本小路39番地1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山崎 博樹
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	1日目は講義を行っていただいた。地元の古い新聞をデジタル化する際に、必要となってくるICTの活用や、今後展開可能な図書館サービスについて、重要なポイントを分かり易く詳細に解説していただいた。特に、デジタルアーカイブについて、アドバイザーのこれまでの知識や経験を踏まえた専門的立場からの助言は、大変有意義であった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月27日	10時00分	17時00分	60	360
3-2. 派遣場所	会場名	延岡市立図書館		最寄駅	延岡駅
	所在地	宮崎県延岡市本小路39番地1			
	最寄駅からの交通手段	タクシー			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	地元の古い新聞をデジタル化したいが、技術的な事も分からないことがあるうえ、どのように事業計画を立て、進めていくのかのノウハウもない。デジタル化のための道筋を作りたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	全職員がデジタル化のための基礎知識を身につけること。また、技術的な問題について理解し、仕様書に必要な項目はなにか、どう予算立てしていけばいいか把握すること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	終日、講義を行っていただいた。ICTについての基本的な内容や、図書館での利用例について学んだ。また、図書館の利用分析に使えるデジタルツールや実証例などを紹介していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	職員がデジタル化に対する基礎知識を身につけられた。また、図書館の利用分析は、当館にも応用することで、自館の強みや弱点について把握し、また予算折衝にあたり説得力のある武器として利用できることがわかった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	デジタル化の技術的な内容。また、仕様書に必要な項目や、どのようにデジタル化を進めればいいのかの青写真を作ること。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演対象が、職員だけのため、アンケートは未実施。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	古い地元紙のデジタル化を事業化し、保存と利活用を適切に推進する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年1月31日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	延岡市立図書館	代表者名	丸山 奈緒美
担当者部署	管理係	連絡先電話番号	0982323058
担当者役職	係長	担当者氏名	権藤 俊英
住所	8820812 宮崎県延岡市本小路39番地1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山崎 博樹
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	1日目の講義を受けて、当館がデジタル化したい資料を直接ご覧いただき、技術的な助言をいただき理解を深めることができた。また、当館職員が看過していた新聞以外の貴重資料をデジタル化する必要性をご指摘いただき、新聞以外の資料デジタル化の重要性を認識するとともに、新聞とその他の資料を関連付けた効果的な活用方法を学ぶことができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月28日	10時00分	17時00分	60	360
3-2. 派遣場所	会場名	延岡市立図書館		最寄駅	延岡駅
	所在地	宮崎県延岡市本小路39番地1			
	最寄駅からの交通手段	タクシー			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	地元の古い新聞をデジタル化したいが、技術的な事も分からないことがあるうえ、どのように事業計画を立て、進めていくのかのノウハウもない。デジタル化のための道筋を作りたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	全職員がデジタル化のための基礎知識を身につけること。また、技術的な問題について理解し、仕様書に必要な項目はなにか、どう予算立てしていけばいいか把握すること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	新聞デジタル化について、実際の資料を見ていただき、劣化具合や紙質などを考慮した上での仕様への助言をいただいた。また、目録づくりのやり方の具体的な方法や、著作権についての留意点及び対応方法についても、専門的な立場から先生のお考えを伺えた。その他、新聞以外にも延岡図書館報や絵図などをデジタル化すべき資料の緊急性、重要性についてもご説明いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	これから見積りを依頼する際に、どのような条件をつけるべきなのかが分かった。また、新聞以外にも劣化が進み将来判別不能となる恐れのある資料についても早急にデジタル化を図っていかねばならない等、新たな課題も気付かされた。今までどうやって手をつけたらよいか分からなかった目録作りなども、取り組み方がみえてきた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	デジタル化の目的の共有化はまだできていない。また、具体的にどのような手順で新聞デジタル化を進めていくのかについては、まだ不明点がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 新聞デジタル化の進め方を模索中である段階であるため、アンケートは未実施	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	古い新聞のデジタル化や、貴重で傷んだ図書のデジタル化を、事業として適切に行っていく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年1月31日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	延岡市立図書館	代表者名	丸山 奈緒美
担当者部署	管理係	連絡先電話番号	0982323058
担当者役職	係長	担当者氏名	権藤 俊英
		連絡先E-mail	
住所	8820812 宮崎県延岡市本小路39番地1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山崎 博樹
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	ワークショップを通して新聞デジタル化の目的について、職員全員で共有が図られた。職員の意見を有機的につなげ集約していただき、より具体的に説得力のある目的を作成していただいたので、今後の計画や、庁内外の説明、予算折衝の際に役立てていきたい。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年1月29日	10時00分	17時00分	60	360
3-2. 派遣場所	会場名	延岡市立図書館		最寄駅	延岡駅
	所在地	宮崎県延岡市本小路39番地1			
	最寄駅からの交通手段	タクシー			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員	人数 8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	地元の良い新聞をデジタル化したいが、技術的な事も分からないことがあるうえ、どのように事業計画を立て、進めていくのかのノウハウもない。デジタル化のための道筋を作りたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	全職員がデジタル化のための基礎知識を身につけること。また、技術的な問題について理解し、仕様書に必要な項目はなにか、どう予算立てしていけばいいか把握すること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	KJ法を用いたワークショップを行っていただき、職員がアイデアを出し合って、「新聞のデジタル化の目的は何か」について職員間で意識の共有が図られた。また、目的により、デジタル化した新聞を閲覧するシステムやサービスが変わっていくことを教わった。図書館の側からデジタル化していくことで様々なメリット得られることを上手く発信することで、予算要求が通りやすい形にできることも教わった。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	新聞デジタル化の目的を明確化するとともに職員が意識を共有できた。デジタル化を効果的に推進していくために、デジタル化のプロセスや財源確保など中期計画を策定していく必要性が分かった。また、デジタル化資料を活用したサービスの多様性や持続可能な仕組みについても考えさせられた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	仕様書の詳細な書きかたについて。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 新聞デジタル化の進め方を模索中である段階であるため、アンケートは未実施	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	古い新聞や図書資料のデジタル化を、目的を明確にした上で中期計画を立て、適切に推進していく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

